# ニラモょラニ<リコは<ぶコカルム 東京国立博物館 たんけんマップ

2021 vol. 2



たんけんマップは、トーハクボランティアが主に小学校高学年から中学生のみなさん に向けて作成しました。いつもは博物館内で配布していましたが、ウェブサイトから ダウンロードして、家でも楽しんでもらえる内容にしました。

# 今回の特集は、題して『トーハクの自由研究!』 展示をヒントに色々なことを調べてみよう

とうきょうこくりつはくぶつかん りゃく 東京国立博物館、略 してトーハクは、明治 5 年創立の日本で もっとも古く、歴史のある博物館だよ。 トーハクには、日本やアジアの美術作品や考古遺物の コレクションが、約12万件もあるんだ。 その中から、総合文化展(常設展)では、約3,000件の 展示を見ることができるよ。

## てんじしつ **展示室のマナー**

にはさわらない





話さない



ペンは使わない

#### 平成館 考古展示室

#### 古代の道具

ょっこてんじしっ 考古展示室は、古い時代のものから順に展示されているから、 まず旧石器時代から見てみよう。

この時代の主な道具は石でできていたんだ。

『打製石器』と言って、石と石をぶつけ合って

たたき割ったり、すり合わせたりして 槍の先や斧などを作り、

これで狩や動物の肉を切ったり 木を切ったりしたんだよ。

次は縄文時代。

形のちがう茶色の容器は、料理用の道具で『土器』って言うんだ。 素たきに使ったり、食べ物を保存したりしたんだよ。

この道具のおかげで、かたい木の実なども食べられるようになったんだって。

そして次の弥生時代には稲作が始まり、

土器の種類もふえてごはんやおかずを入れる 食器が作られるようになったんだ。

えってんだった。 考古展示室には、他にも色々な道具が展示されているよ。 古代の人々が、それらをどのように使ったのか、調べてみてね。

2ページ目の記事の場所



#### ・本館 17 室・

#### 保存と修理

本館 17 室では、文化財の保存と修理への取り組みを紹介しているよ。

ホヒロワ 仏さまの内部を見れるCT画像には びっくりだから、ぜひ立ちよってみてね。 見た目ではわからない内部のようすや いたみ具合を確認するために、X線や CT撮影などの最新技術が使われるんだ。 X線やCTは人間の病気の診断に使われ る技術で、まるで健康診断みたいだね。



他にも、材質や状態にあわせて、さまざまな修理方法も見られるよ。 でも修理は、文化財にとって負担になることも多いから、

ふだんから少しでもいたまないように予防することが大切なんだ。 たとえば、浮世絵や布の作品などは光に弱いので、他より暗い展示 になっているんだよ。

作品を鑑賞するときは、それぞれの文化財の特徴に合わせた 、展示の仕方になっていることにも注目してみてね。

#### ・東洋館

### 文字の歴史

展示作品の中から古代の文字も見つかるよ。 東洋館の中国の作品には、漢字が見られるね。 漢字の始まりは、古代中国で使われた『甲骨文字』 というもので、電の甲らや動物の骨に文字を刻ん

だから、そう呼ばれているんだ。

甲骨文字 (こうこつもじ)

『甲骨文字』が少しずつ変化して、今使っている漢字に なったんだけれど、どのように変化していったんだろう? 漢字の成り立ちを調べてみると、わかりそうだよ。

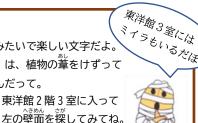
『ヒエログリフ/象形文字』は、

古代エジプトで使われた、一つ一つが絵みたいで楽しい文字だよ。 古代メソポタミアで使われた『楔形文字』は、植物の葦をけずって ペンのようにして、粘土板にして書いたんだって。



ヒエログリフ/ 象形文字(しょうけいもじ) (くさびがたもじ)









# 北側庭園や前庭を散策してみよう!思いがけない発見があるよ

#### 庭園と茶室

北側庭園には5つの茶室があるよ。

茶室のある大きな建物が2つ、小さな建物の茶室が3つ。 どれも歴史のある建物なんだ。

本館のインフォメーションで庭園マップをもらって、 歌策しながら一つ一つ訪ねてみてね。

『転合庵』と『六窓庵』には、お客様が部屋の中に入る。 ための『にじり口』があるんだ。

かがまなければ、くぐれないような小さな入口だよ、見つけたかな? 『六窓庵』には、手を洗う『手水鉢』などもあるから確認してね。

本館4室では、お茶の道具やパネル展示で、お茶の文化を知ることが できるよ。



転合庵(てんごうあん)



六窓庵(ろくそうあん) にじり口



# ユリノキ

手水鉢(ちょうずばち)

本館の前に大きな木があるのに気づいたかな?

『ユリノキ』って言うんだ。前に立って見あげてみよう。 この木はトーハクが出来たころから、ここにあるんだけど、 今では、表慶館と同じくらいの高さだね。

何メートルくらいかな?

フリノキ

『ユリノキ』の葉っぱは大きくて、形もおもしろいね。 お祭りのときに着るハッピに似てると思わない? 木によって葉っぱの形はさまざまだね。

北側庭園には、葉っぱがハート形に見える『ボダイジュ』や、 カエルの手に見えて、名前の由来にもなっている『トウカエデ』があるよ。

探してみてね。

ユリノキと みどりのライオンは すぐ近くよ。





ボダイジュ

トウカエデ

### みどりのライオン

『ユリノキ』は、古代から形が変わらない

日本では『ユリノキ』の葉っぱの化石が、 約2,500万年前の地層から発見されているよ。

生きている化石植物について調べてみてね。

「生きている化石植物」なんだ。

ʊょラゖレᢧシ。 表慶館の入口の両側には、2頭のライオンが座っているよ。 近づいてよーく見てみると、向かって右のライオンは ユリノキちゃん

正門近くには、『イチョウ』『メタセコイア』の大きくてりっぱな

木が並んでいるけど、これらも「生きている化石植物」なんだ。

口を開けているけれど、左のライオンは口を閉じている。

寺院の仁王像や、神社の狛犬のように、

阿吽を現しているんだ。

でも 阿吽ってなんだろう? 「すべての始まりと終わり」

っていう意味があるんだって。

東洋館の入口の両側には、 中国の狛犬がいるけど、

そちらは2頭とも口を閉じているよ。

獅子の像や狛犬のルーツには色々な

説があるから、調べてみるとおもしろそうだね。



トーハクには家の門もあるって知ってる? それは『黒門』、しかも重要文化財なんだ。 鳥取藩の大名のおやしきの正門だったんだけど、 なんでその門がトーハクにあるのかな?

それがわかるヒントは、屋根がわらの紋章が手がかり。 明治時代になって取りこわされそうになった『黒門』は、 名建築だということで皇族の家の正門として使われ、 そのときに気のご紋のかわらがつけられたんだよ。

そのあと昭和29年に、 保存のために トーハクに移されて、

今では第3の人生を 歩んでいるんだ。





他にも興味のあるものがあったら 調べてみてほしいぞー。

たんけんマップの キャラクター

発行:東京国立博物館ボランティア たんけんマップグループ

2021年8月